

植物公園のあらまし

令和6年度



広島市植物公園

I 概 要

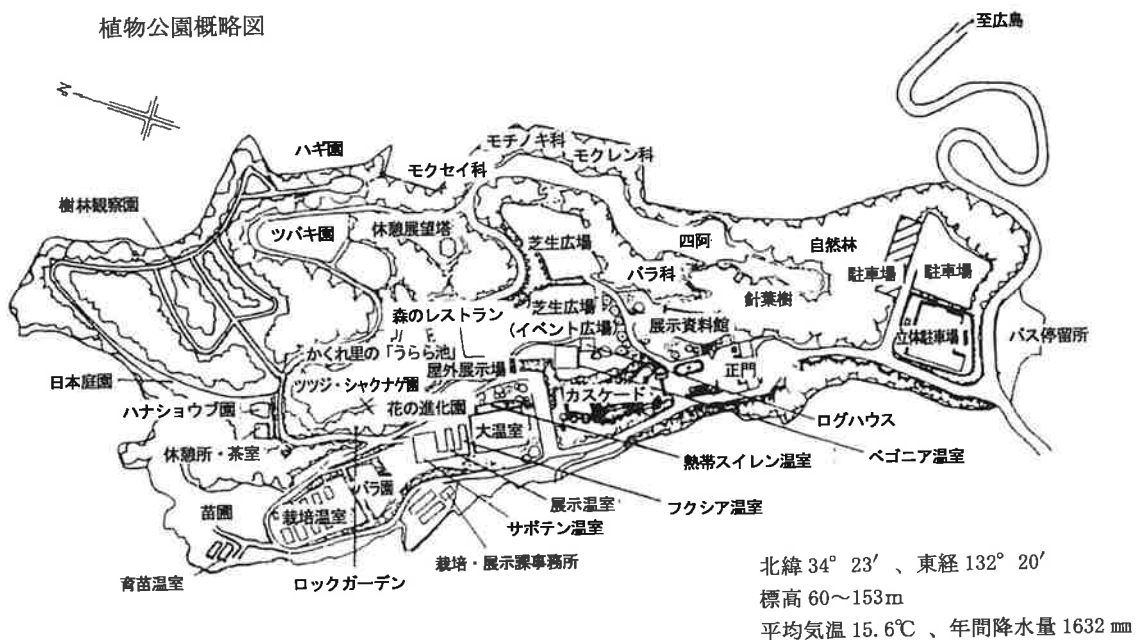
広島市植物公園は、広島市中心部と宮島の中ほど、佐伯区倉重の瀬戸内海を望む高台に位置し、18.3ヘクタールの園内には、大温室をはじめサボテン温室、展示温室、熱帯スイレン温室、ペゴニア温室、フクシア温室、栽培温室、展示資料館、芝生広場、カスケード、花の進化園、日本庭園、樹林観察園などを設け、約1万品種約20万本の植物を植栽しています。

本園は、国内外の植物を多数収集し、教育的配慮の下に植栽展示するとともに、憩いの場として自然観察の機会を提供しながら、植物に関する知識の普及と自然保護に関する啓発を図る社会教育の場として昭和51年（1976年）11月3日に開園しました。



大花壇中央のわかばの像（彫刻家 林 健氏作）は、1976年に社団法人日本青年会議所第25回中国地区会員大会記念として建立された。

植物公園概略図



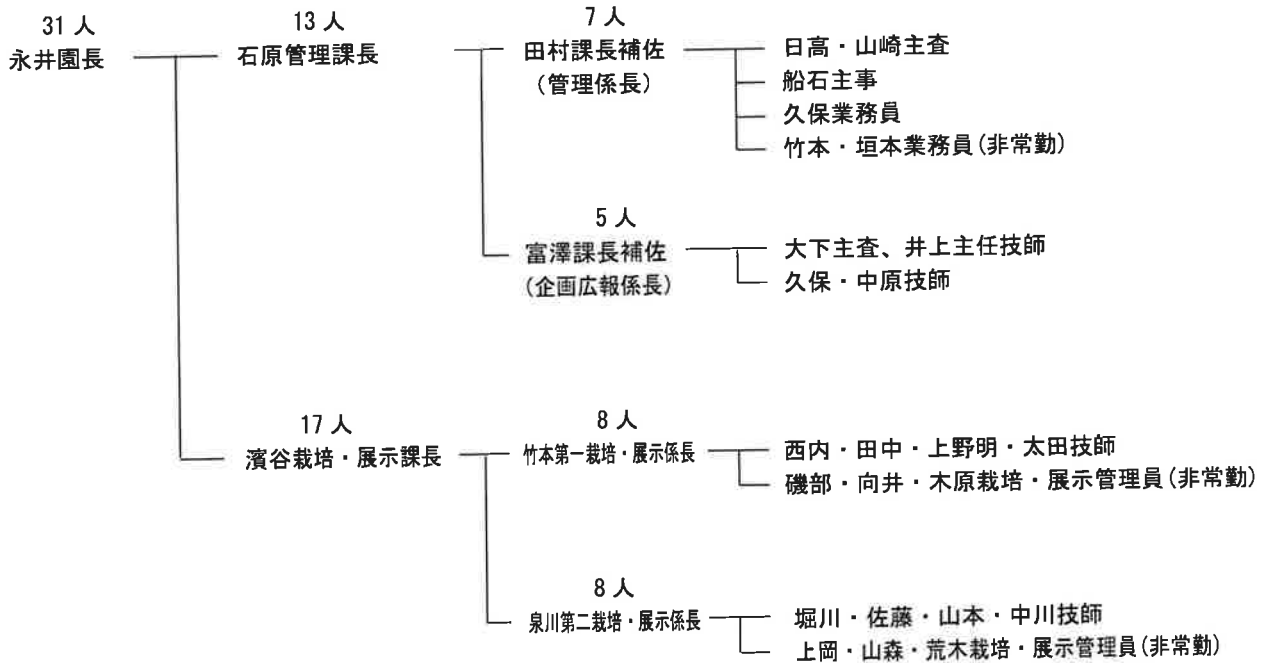
Ⅱ 沿 革

- 昭和41年3月 用地買収ほぼ完了
(1966年)
- 47. 7 公の施設(植物公園)の区域外設置を市議会決議(同年12月 五日市町議会議決)
 - 48. 3 園地造成完成
 - 49. 4 植物公園建設事務所設置
 - 50. 8 大温室完成
 - 51. 5 カスケード完成
 - 51. 10 (財)広島市公園協会設立
 - 51. 11 正面ゲート・展示資料館完成
植物公園入場券の売改札、駐車場の管理及び料金収納業務を(財)広島市公園協会が受託。植物公園売店営業開始
植物公園建設事務所を植物公園に組織改正(主任制 職員14名)
 - 51. 11 開園(開園式 11月2日・開園日 11月3日)
 - 52. 4 組織改正〔管理係・業務係設置 職員27名〕
 - 52. 5 立体駐車場完成
 - 52. 10 食堂完成
 - 53. 10 サボテン温室、展示温室完成
 - 54. 2 総入園者 100万人達成
 - 54. 4 組織改正〔管理課・植物課設置(企画係・栽培係) 職員27名〕
 - 54. 10 植物公園植物友の会発足
 - 55. 3 休憩展望塔完成
 - 56. 3 ベゴニア温室完成
 - 57. 5 総入園者 200万人達成
 - 58. 3 日本庭園(自然林整備)設置
 - 59. 3 和心庵(茶室)完成、樹林観察園完成
 - 60. 3 ロックガーデン完成
 - 61. 1 総入園者 300万人達成
 - 61. 2 熱帯スイレン温室完成
 - 61. 4 (財)広島市公園協会が運営業務受託
組織改正〔管理課を企画課(管理係・企画係)、植物課を栽培課(第一栽培係・第二栽培係)に改正 職員36名〕
 - 62. 3 世界蘭会議広島大会開催(3/24~4/5)
 - 62. 4 組織改正〔企画課(管理係・事業係)、栽培課(普及係・第一栽培係・第二栽培係)に改正 職員37名〕
 - 63. 1 育苗温室完成
- 平成元年 5 総入園者 400万人達成
(1989年)
- 元年 10 時計塔受領(広島西ロータリークラブ寄贈)
ログハウス(休憩所)完成
 - 5. 5 総入園者 500万人達成
 - 6. 6 秋篠宮殿下お成り(6月21日)
 - 6. 9 アジア競技大会芸術展示「アジアの花とみどり展」開催(9/23~10/26)
 - 6. 10 皇太子殿下・同妃殿下行啓(10月16日)
常陸宮妃殿下お成り(10月26日)
 - 8. 3 新「ベゴニア温室」完成(開館 11月2日)
 - 8. 11 広島市植物公園開園20周年記念式典開催(11月2日)
広島市重慶市友好都市提携10周年記念「日本と中国の菊展」開催(11/2~11/14)
 - 9. 3 フクシア温室完成(旧ベゴニア温室改装、開館 3月15日)
 - 10. 3 パラ園スロープ完成
 - 10. 8 総入園者 600万人達成
 - 11. 4 (財)広島市動植物園・公園協会設立〔(財)広島市公園協会と(財)広島市動物園協会を統合〕、管理・運営業務受託
組織改正〔企画課、栽培課を管理課(管理係、企画広報係)、栽培課(第一栽培係、第二栽培係)に改正 職員37名〕
 - 13. 3 ガイドボランティアの導入、ホームページの開設
隠里ため池取得(3月22日 6,964.37㎡)
 - 15. 2 第1回春をよぶらんらまつり開催
 - 15. 4 組織改正〔栽培課(第一栽培係、第二栽培係)を栽培・展示課(第一栽培・展示係、第二栽培・展示係)に改正 職員37名〕
 - 15. 9 第1回夜間開園開催
 - 15. 10 植物公園で秋のグリーンフェアを初めて開催
 - 16. 12 冬の夜間開園を初めて開催
 - 17. 3 ベゴニア3品種の種苗品種登録(13年9月出願)
授乳室・救護室完成
 - 17. 4 総入園者 700万人達成
第1回さくらまつり開催
 - 17. 7 アサガオの巨大カーテンの展示開始
 - 18. 3 上水道引込箇所変更(ポンプ場使用中止)
 - 18. 4 春の夜間開園を初めて開催
 - 18. 4 (財)広島市動植物園・公園協会が指定管理者として管理・運営業務受託、電動スクーター導入
カナダ モントリオール市から寄贈されたモザイカルチャーの展示開始(4月29日)
 - 18. 11 広島市重慶市友好都市提携20周年記念「重慶と広島 菊花の造形展」開催(10/28~11/12)
広島市植物公園開園30周年記念式典開催、ため池愛称「かくれ里の『うらら池』」発表、散策路開通(11月3日)
 - 19. 7 第1回サマーフェア開催
 - 19. 8 3園(安佐動物公園・植物公園・森林公園昆虫館)共通年間パスポート発売開始(8月1日)

- 22. 8 総入園者 800 万人達成
- 24. 4 (公財) 広島市みどり生きもの協会へ移行
- 27. 5 総入園者 900 万人達成
- 27. 10 電動カート(マーチャン号)運行開始
- 28. 2 大温室休館、リニューアル工事開始
- 28. 11 広島市重慶市友好都市提携 30 周年記念「重慶と広島 菊花の造形展」開催(10/29~11/13)
広島市植物公園開園 40 周年記念式典開催、壁面花壇(高さ 3m、横 15m)のお披露目式(11 月 3 日)
- 30. 3 大温室改修工事完成、リニューアルオープン(3 月 3 日)
- 30. 6 秋篠宮殿下お成り(6 月 20 日)
(公社)日本植物園協会第 53 回大会開催(佐伯区民文化センター、植物公園)(6/19~6/21)
- 31. 2 第 1 回世界の蘭と熱帯の花フェスタ開催(2/23~3/3)
- 令和 2 年 2 第 1 回春の特別ラン展開催(2/22~3/1)
- (2020 年)
- 2. 4 「新型コロナウイルス感染拡大防止のための広島県における緊急事態措置等」を踏まえた
臨時休園(4/22~5/17、26 日間)
- 2. 12 「新型コロナ感染拡大防止集中対策」に基づく臨時休園(12/12~2/7、58 日間)
(公社)日本植物園協会ナショナルコレクション認定「変わり葉ゼラニウム品種群」(12 月 15 日)
- 3. 4 総入園者 1000 万人達成
- 3. 5 「新型コロナ感染拡大防止集中対策」に基づく臨時休園(5/8~6/20、44 日間)
- 3. 8 「新型コロナ感染拡大防止集中対策」に基づく臨時休園(8/28~9/30、34 日間)
- 4. 3 熱帯スイレン温室前に、「はなのわ花壇」設置
- 4. 5 出前講座の開始
- 4. 12 ベゴニア温室冷房設備改修工事完成
- 5. 4 ネモフィラウイーク、ヒマワリウイークなどの開始
- 6. 2 ホームページのリニューアル

Ⅲ 組織・所掌事務

1 組織



2 所掌事務

(管理課)

- (1) 事務事業の企画及び調整
- (2) 予算の執行
- (3) 会計及び経理
- (4) 物品購入、製造の請負契約、出納及び保管
- (5) 業務委託の入札及び請負契約
- (6) 現金及び有価証券の出納及び保管
- (7) 事業の広報及び普及
- (8) 各種催物の企画及び実施
- (9) 植物に関する相談及び指導
- (10) 植物愛好者の指導育成
- (11) 協会印の管理
- (12) 市から指定管理者として指定を受けて行う、植物公園の管理運営及び使用料の徴収
- (13) 入園者増加対策
- (14) 文書の収発及び編さん保存
- (15) 寄附金、協賛金、負担金その他これに類するもの（相当する物品等を含む）の受納
- (16) 収益事業
- (17) 施設の管理
- (18) その他園の庶務
- (19) 課及び栽培・展示課の庶務

(栽培・展示課)

- (1) 植物の収集及び栽培、展示
- (2) 植物に関する知識の普及
- (3) 植物の栽培管理及び育種
- (4) 植物並びに緑化技術の調査及び研究
- (5) 植物に関する資料の収集及び作成
- (6) 展示会、講習会等の企画及び実施

IV 主 な 施 設

1 大温室

大温室は、間口 35m、奥行 62m、高さ 21mで、昭和 50 年 8 月に完成しました。築 40 年以上が経過し、老朽化が著しかったため平成 28 年 2 月から休館し、目玉となる新たなシンボルツリーとして日本最大のオーストラリアパオバブを導入するなど、植栽の見直しや観賞用通路の変更等も含め、大規模改修を実施し、平成 30 年 3 月 3 日にリニューアルオープンしました。生態、生育環境等で大きく 4 つのコーナーに分けており、約 700 種類約 5,000 株を植栽しています。

2 サボテン温室

サボテン温室は、間口 16m、奥行 16m、高さ 8mで、昭和 53 年 10 月 31 日に完成しました。サボテン類や多肉植物など乾燥地の植物約 330 品種、500 株を植栽しています。

3 展示温室

展示温室は、間口 7m、奥行き 20m、高さ 5mで、季節にふさわしい植物の常設展示会場として、昭和 53 年 10 月 31 日に完成しました。

この温室では、エビネ展、ラン展などの各種展示会を開催します。

4 熱帯スイレン温室

熱帯スイレン温室は、面積 483 m²、高さ 9mで、昭和 61 年 2 月に完成しました。中には大小二つの水槽が設けられています。水槽の水温は 25~28℃に保たれ、品種が豊富で美しい熱帯スイレンの花を一年を通じて観賞できます。

北側の食虫植物コーナー (30 m²) では、ウツボカズラなどを身近で観察でき、温室周辺では模型を設置しており、捕らわれた虫の気分を体験できます。

5 ベゴニア温室

ベゴニア温室は、展示室 344 m²、育苗室 118 m²で、平成 8 年 3 月 31 日に完成し、11 月 2 日に開館しました。特に球根ベゴニアといわれる南アメリカのアンデス熱帯高地原産の種類を中心に、ベゴニアの花が一年中観賞できるように冷暖房及び電照設備を備えた温室です。

温室内には約 680 種類、2,000 株を栽培しており、その保有数は西日本最大級の規模となっています。

6 フクシア温室

フクシア温室は、面積 227 m²、旧「ベゴニア温室」を改装して、平成 9 年 3 月 15 日に開館しました。フクシアは中南米原産で、風鈴のようなチャーミングな花を咲かせます。

この温室は、冷暖房と電照の設備を整えていますので、一年中美しいフクシアを咲かせることができ、また、折々に咲く多種多様な世界の珍しい野生ランも同時に観賞できます。

7 展示資料館

2 階建て延べ 1,301 m²の展示資料館は、昭和 51 年 11 月に完成し、1 階には、管理事務所をはじめ、展示会を催す展示室及び展示準備室、2 階には、講演・講習会を行う講堂、植物に関する各種の研究を行う資料作成室、培養室、種子貯蔵庫、図書室、ボランティアルームなどがあります。

8 カスケード

園に入ると正面に見えるカスケードは、大温室までの長さ約 100m、高低差 9mの区間に、白い花崗岩と赤いレンガを調和よく使用し、直線的に構成された造形の美しい階段で、途中に季節の花々を大型コンテナやプランターで飾っています。また、滝と鯉が泳ぐ池を配し、潤いを添えています。

- 9 芝生広場
芝生広場 (6,106 m²) は、来園者の憩いの場、語らいの場のほかイベント広場として有意義に利用されています。広場の周囲には、サクラ、ロウバイ、スモモ、リキュウバイ、マンサク類などを植栽し、季節の花を楽しむことができるほか、子どもたちの遊び場として遊具を設置しています。
- 10 花の進化園
花の進化園では、園路の両側を利用し、植物の分類と進化の道筋を順序よく系統だてて理解できるように植物を植栽し、一般の方はもとより学校教育にも利用できるようにしています。
- 11 ロックガーデンと里山の野草園
ロックガーデンでは、高山や海岸のように厳しい環境に生育する植物を植栽し、その生態などを観察することができます。
里山の野草園では、広島県内の絶滅危惧植物をはじめ、早春に開花する草花や秋の草原を彩る野草などを観賞できます。
- 12 バラ園
バラ園には、約 700 種類、1,000 株のバラが植えられています。野生種や古花（オールドローズ）の収集に力を入れているほか、広島で生まれた品種、世界の都市から平和メッセージとして寄贈を受けた株など国際平和文化都市広島にちなむ品種や、後世に残したい優れた品種を展示しています。
- 13 ツバキ園
ツバキ園では、ツバキを中心にサザンカを含めたツバキ属や、ヒメシャラ、イジュなどのツバキ科の野生種などが観察できます。
- 14 日本庭園
日本庭園は、ハナショウブ園と樹林観察園とを結ぶ北向きの谷筋を利用した整備がされ、周囲では各種のアジサイ、奥の湿地ではミツマタ等が観賞できます。また、日本庭園内にある茶室（和心庵）は流派を問わず利用できます。
- 15 樹林観察園
樹林観察園では、西南日本の低地にある常緑広葉樹林を構成する種類と、高地に成立する落葉広葉樹林を構成する樹種を観察できます。
- 16 その他の屋外植栽等
このほか、屋外の植物の植栽として、園内各所の花壇 (830 m²) やログガーデン、カエデ園、ハギ園、ツツジ・シャクナゲ園等を配置し、季節の花等を楽しむことのできる植栽と、植物の類似や相違を比較できる科別の植栽の2つの方法で行っています。また、屋外展示場では、クレマチス展などの各種展示会を行っています。
- 17 栽培温室
10 棟の温室群からなり、新たに導入した植物の試作、育成や温室及び各種展示会に展示するためのバックヤードとして、植物の養成、栽培並びに繁殖を行うところで、入園者には公開していません。ラン科植物をはじめ、熱帯産の観葉植物や有用植物、古典園芸植物などを栽培しています。
- 18 苗圃
2 棟のガラス温室を含む主に屋外植物の栽培並びに繁殖を行うところで、入園者には公開していません。鉢植えの樹木や山野草、薬用植物などを栽培しています。

V 収 集 植 物

区 分		種 類 数	数 量	
園 全 体	開園時（昭和 51 年 11 月）	5, 000	100, 000	
	令和 5 年度末現在	10, 110	197, 000	
内	大温室	ヤシ、バナナの仲間 ラン、アナナス 熱帯果樹 熱帯花木 熱帯樹木 草花 計	100 100 50 150 100 200 700	250 500 100 300 500 3, 350 5, 000
	サボテン温室	サボテン ベンケイソウ科 アロエ リュウゼツラン その他多肉植物 計	60 65 30 30 145 330	100 70 40 40 250 500
	熱帯スイレン温室	熱帯スイレン その他の植物 計	50 150 200	100 650 750
	ベゴニア温室	球根性ベゴニア 球根ベゴニア 木立性ベゴニア 根茎性ベゴニア レックスベゴニア 計	30 60 290 230 70 680	100 380 600 600 320 2, 000
	フクシア温室	フクシア その他 計	260 40 300	350 70 420
	栽培温室	ラン科 アナナス科 サトイモ科 イワタバコ科 ゼラニウム その他 計	2, 300 150 230 220 600 400 3, 900	10, 000 300 900 800 610 19, 890 32, 500
	バラ園	野生種 オールドローズ モダンローズ（アーリーモダン除く） アーリーモダン 計	120 234 246 100 700	160 340 300 200 1, 000
	ツバキ園	ヤブツバキ系 ユキツバキ系 肥後椿 サザンカ、その他 計	40 40 30 90 200	80 80 70 370 600
	苗圃、花の進化園、樹木園他		3, 100	154, 230
	訳			

※同一品種が各分野に重なって栽培されている場合、品種数は常時展示してある場所に加算し、他は除く。
 ※開花期のみ展示する場合は、栽培場に加算する。アーリーモダン（初期の現代バラ）の定義を 1945 年以前に
 作出されたものとする。

VI 主な事業内容

1	展 示 会	季節の植物をテーマにあわせて展示 (計45回) (1) 展示資料館 年12回 (4) 大温室 年1回 (2) 展示温室 年18回 (5) カスケード 年1回 (3) 屋外展示場 年7回 (6) その他 年6回	
2	講演会・講習会・実演会	展示内容に関連する講演・講習等	年42回
3	ガーデニング講座	寄せ植えやハンギングバスケット作りについての講義と実習	年2回
4	暮らしに役立つハーブ講座	ハーブの効能や利用について紹介する講座	年3回
5	職員による植物うんちく語り等	春・夏・秋・冬の園内植物の観察と観賞(きのこ、野鳥の観察を含む)等	年33回
6	オオオニバス試乗体験会	直径1m以上になるオオオニバスの葉の試乗会 〔対象：小学校以下、体重30kgまで〕	年4回
7	親子植物体験教室	親子(小学校1～3年生)を対象とする植物の観察	年1回
8	バオバブタッチングイベント	大温室のシンボルツリーであるオーストラリアバオバブを期間限定でタッチング	年1回
9	ウオーキング大会・写生大会	園内でウオーキング大会や写生大会を開催 (佐伯区役所との共同事業)	年2回
10	あおぞら自然観察会	園外で植物や鳥・昆虫の観察 (安佐動物公園・昆虫館との共同事業)	年1回
11	研究活動発表会	調査研究活動や教育普及活動によって得られた成果を市民に発表	年1回
12	写真コンテスト	園内の植物や風景写真の審査、展示	年1回
13	さくらまつり	さくらの見頃に合わせ、各種の行事を開催	22日間
14	ネモフィラウィーク	ネモフィラの見頃に合わせ、SNS発信と企画を実施	16日間
15	みどりの日・植物園の日記念行事	「みどりの日・植物園の日(5/4)」を記念し、各種の行事を開催	1日間
16	ローズフェスティバル	春バラの見頃に合わせ、各種の行事を開催	14日間
17	アジサイウィーク	アジサイの見頃に合わせ、各種の行事を開催	32日間
18	サマーフェア	水遊び広場など、各種の行事を開催	38日間
19	ヒマワリウィーク	ヒマワリの見頃に合わせ、SNS発信と企画を実施	38日間
20	秋のグリーンフェア	「都市緑化月間(10月)」に合わせ、各種の行事を開催	10日間(未定)
21	コスモスウィーク	コスモスの見頃に合わせ、花の解説など。最終日に花の摘み取りを開催	未定
22	開園記念行事	「開園記念日(11/3)」を記念し、各種の行事を開催	1日間
23	夜間開園	普段あまり見ることのできない夜の幻想的な植物を紹介	年12回
24	バレンタインフェスティバル	バレンタインデーに合わせ、各種の行事を開催	6日間
25	植物教室	小・中学生、団体等を対象に講話や植物ビデオの上映など	申込制
26	緑化講習会	地域等の緑化の講習	申込制
27	園芸相談	園芸知識全般の講習	随時
28	実習生の受入れ	大学等の学外実習(博物館実習)の指導など	申込制
29	自然体験学習活動の受入れ	自然体験学習活動やオリエンテーリングの実施など	随時
30	種苗交換	外国及び国内の植物園と種子、苗の交換	随時
31	印刷物の刊行	(1) 紀 要 年1回 (4) あらまし 年1回 (2) 栽培記録 年1回 (5) 種子目録 年1回 (3) 年 報 年1回 (6) 植物観察ノート 随時	
32	植物に関する調査・研究	(1) 広島県・市の植生調査 (3) 園芸植物の開花・繁殖に関する研究 (2) 植物の染色体に関する研究 (4) 園芸植物の品種改良	
33	植物愛好団体の育成	植物友の会(P.15参照)他	随時
34	ボランティアの育成	ガイドボランティア、管理ボランティア(P.16参照)	随時
35	植物公園出前講座	公民館や学校等の園外に講師として職員を派遣(年15回)	申込制
36	そ の 他	(1) 園外における写真等の展示による紹介 (2) ホームページ、SNSなどによる園の最新情報の紹介	随時

令和6年度

展示計画

区分	展示資料館	展示温室	屋外展示場
4月	3.2(土)～4.4(木) 「草木染の世界」展(令和5年度展示)	3.2(土)～4.14(日) ゼラニウム展(令和5年度展示)	
	4.6(土)～5.6(月・休) ポタニカルアート展		4.13(土)～4.17(水) サクランボ展 4.20(土)～4.24(水) 春の山野草展
5月	5.11(土)～6.5(水) 趣味のポタニカルアート展	4.27(土)～5.6(月・休) 春の洋ラン展	4.27(土)～5.6(月・休) クレマチス展
	6.8(土)～6.10(日) 初夏の小品盆栽展	5.8(水)～5.13(月) セッコク・長生蘭展 5.18(土)～5.26(日) ハーブ展	バラ園ほか 5.11(土)～5.26(日) ローズフェスティバル 5.18(土)～5.21(火) 運味きクレマチス展 5.25(土)～6.30(日) アジサイ展
6月	6.15(土)～7.15(月・祝) 私の好きな花たちの写真展	6.15(土)～6.20(木) ウチヨウラン展	
7月	7.20(土)～9.1(日) 夏休みの子ども向けオープンスペース(仮)	6.29(土)～7.15(月・祝) ピカクンダとカラフルリリー展	大テント前、スイレン温室など 7.13(土)～9.23(月・祝) 盛夏のスイレン展
		7.20(土)～8.18(日) 世界の食虫植物展	イベント広場など 7.20(土)～9.1(日) サマーフェア
8月		8.24(土)～9.1(日) 変化朝顔展	
	9.14(土)～12.22(日) 特別企画展「有用植物展」(仮題)	9.7(土)～10.6(日) 薬用植物展	

※都合により、内容・会期などを変更する場合がありますので、御了承ください。

区分	展示資料館	展示温室	屋外展示場
10月	9.14(土)～12.22(日) 特別企画展「有用植物展」(仮題)	10.12(土)～10.20(日) サボテン・多肉植物展	10.19(土)～10.24(木) 秋の山野草展 カスケード 10.26(土)～11.3(日・祝) ハンギングバスケット作品展
	10.19(土)～10.20(日) 野生きのこ展	10.26(土)～11.4(月・休) 秋の洋ラン展	10.26(土)～11.3(日・祝) 秋のグリーンフエア 10.26(土)～11.17(日) キク展
11月		11.9(土)～11.17(日) 寒蘭展	
		11.23(土・祝)～12.25(水) クリスマス飾るフラワー展	
12月		12.29～1.3 休園日	
1月	1.4(土)～1.6(月) 新春小品盆栽展	1.8(水)～2.2(日) 冬の鉢花展	
	1.11(土)～2.11(火・祝) 植物公園写真コンテスト作品展		大温室、展示資料館など 2.8(土)～2.13(木) バレンタインフェスティバル
2月	資料館ロビー 日程未定 広島市植物公園写生大会入賞作品展	2.5(水)～2.11(火・祝) おもと名品展	
	2.22(土)～2.28(金) フラワーデザイン展	2.22(土)～3.2(日) 春の特別ラン展	2.22(土)～3.2(日) 春の特別ラン展(大温室他)
3月	3.8(土)～4.10(木) 「草木染の世界」展	3.8(土)～4.13(日) ゼラニウム展	

令和6年度 行事計画

区分	講座等	観覧会等	講習会・講演会等	実演会等	その他の行事	友の会・ガイドボランティア その他の団体
4月	13日(土) 春のガーデニング講座	14日(日)・23日(火) 職員による植物うんちく語り	6日(土)・14日(日) さくら写真撮影講習会 20日(土) 色鉛筆で描くボタニカルアート体験	7日(日)ボタニカルアート展ギャラリートーク 21日(日)山野草実演会 21日(日)エビネ実演会	(3月23日)～4月14日 さくらまつり 4月20日(土)夜間開園 4月20日～5月6日ネモフィラウイーク	14日(日) ガイドボランティア例会 29日(月・祝) 草笛演奏会
	28日(日) みどり虫講座「花と虫さがし」(昆虫館)	6日(月・休)・28日(火) 職員による植物うんちく語り	19日(日)カクレマツリ体験 ボタニカルアート色付け体験 26日(日) バラ講習会	3日(金・祝)クワラン実演会 5日(日)祝洋ラン実演会 12日(日)セッコク実演会 18日(土)ハーブ展ギャラリートーク 19日(日)ハーブ実演会	4日(土)・祝 みどりの日・植物園の日記念行事 11日(土)～26日(日)ローズフェスティバル 25日(土)～6月30日(日)アジアウイーク	15日(水)友の会野外観覧会 25日(土) 佐伯区民ウォーキング大会
5月	29日(土) 暮らしに役立つハーブ講座	1日(土)モリアオガエル観覧のすずめ 2日(日)先生と子供のための森の幼稚園 1日(土)・25日(火)職員による植物うんちく語り 7日(日)・23日(火)職員による植物うんちく語り 13日(土)園内散策～広島の絶滅危惧植物～ 14日(日)冬虫夏草観覧会 27日(土)親子植物体験教室 28日(日)みどり虫講座「カブトムシとクワガタムシ」	16日(日) 植物写真撮影講習会	2日(日)・9日(日) アジサイ実演会 8日(土)ハナヨウブ観賞会 9日(日)小品盆栽実演会	26日(日)お茶会 2日(日)・9日(日) お茶会 23日(日)あおぞら自然観覧会	1日(土) ガイドボランティア例会 2日(日) 草笛体験会
6月	6日・13日(土) 暮らしに役立つハーブ講座	3日(土)・20日(火) 職員による植物うんちく語り 8日(木)・11日(日)・祝・13日(火)・15日(木) オオオニバス試乗体験会 7日(土)・24日(火) 職員による植物うんちく語り	14日(日) インドアグリーン講演会	6日(土) ヒカランダとカラフルリーフ展ギャラリートーク 28日(日) 食虫植物実演会 25日(日) 変化朝顔展解説	7月20日(土)～9月1日(日) サマーフェア 20日(日)～9月1日(日)ヒマワリウイーク	7日(日) 草笛体験会 7日(日) 友の会例会 3日(土) ガイドボランティア例会 4日(日)草笛体験会
7月						
8月						
9月						
10月	12日(土) みどり虫講座「トンリと虫さがし」(昆虫館)	5日(土)・22日(火)職員による植物うんちく語り 13日(日)先生と子供のための森の幼稚園 14日(月・祝)みどり虫講座「アサギヤギタラ観覧会」 19日(土)きのご観覧会 9日(土)・26日(火) 職員による植物うんちく語り	12日(土) 多肉植物寄せ植えワークショップ 16日(土) クリスマスリース作り講習会	23日(月・祝) 薬用植物展解説 20日(日) 山野草実演会	7日(土)・14日(土)・15日(日) 21日(土)・22日(日) 夜間開園 10月26日(土)～11月4日(月・休)飯 秋のグリーンフェア コスモスウイーク(日程未定)	1日(日) 草笛体験会 8日(日) 友の会例会 5日(土) ガイドボランティア例会 6日(日)草笛体験会 友の会野外観覧会(日程未定)
11月	23日(土) 冬のガーデニング講座	9日(土)・26日(火) 職員による植物うんちく語り	18日(土) クリスマスリース作り講習会	4日(月・祝) 洋ラン実演会 10日(日) 寒蘭実演会	ハオバツタツチンイベント(日程未定) 3日(日)・祝開園記念日 23日(土)・祝・30日(土) 夜間開園 7日(土)・14日(土)・21日(土) 夜間開園	3日(日)・祝)草笛演奏会 9日(土)コスモスのお花摘み 10日(日)友の会例会 24日(日)写生大会(飯) 友の会野外観覧会(日程未定)
12月		1日(日)・24日(火) 職員による植物うんちく語り				1日(日) ガイドボランティア例会
1月		4日(土)・28日(火) 職員による植物うんちく語り 13日(月・祝) 植物公園野鳥観覧のすずめ 1日(土)・25日(火) 職員による植物うんちく語り		5日(日) 小品盆栽実演会		12日(日) 友の会例会
2月			カカオニブ講演会(日程未定) 23日(日) 洋ラン講演会	カカオニブ蘭研実演会(日程未定) 9日(日)おもと実演会 24日(月・休)洋ラン実演会 フラワーデザイン講習会(日程未定)	2日(日) 研究活動発表会 8日(土)～13日(木) ハレンタインフェスティバル 20日(木)・祝 しいたけ栽培講習会 29日(土) 夜間開園	1日(土) ガイドボランティア例会
3月		1日(土)・25日(火) 職員による植物うんちく語り	洋ラン講習会(日程未定)	1日(土)・2日(日) 洋ラン実演会		9日(日) 友の会例会(総会)

※都合により、内容・会期などを変更する場合がありますので、御了承ください。

VII 参 考 資 料

1 土 地

区 分	面積(m ²)	備 考
花 壇	830	植替え：年5回
花壇内訳	大花壇	180
	小花壇	60
	その他	590
温 室	5,292	
芝 生	7,774	芝生広場、バラ園、カスケード
樹 園	132,640	
た め 池	6,964	

区 分	面積(m ²)	備 考
建 物 敷 地	2,365	
カスケード	3,460	
日 本 庭 園	2,600	
園内道路敷地	10,260	
駐 車 場	5,900	駐車台数：普通車 532台、バス10台
苗 圃	960	
そ の 他	3,519	
計	182,564	

2 建 物

名 称	面積(m ²)	構 造	完 成
展 示 資 料 館	延 1,301	鉄筋コンクリート造2階建	昭和51年10月20日
展示室	276		
栽培・展示課事務所	92	軽量鉄骨造平屋建	平成14年3月8日
旧栽培課事務所	112	コンクリートブロック造平屋建	昭和45年10月19日
屋外展示場	60	鉄パイプ造平屋建	昭和54年12月31日
森のレストラン	295	鉄筋コンクリート造2階建	昭和52年10月31日
倉庫(3棟)	221	コンクリートブロック造平屋建ほか	昭和45年10月19日～ 昭和55年12月25日
ポンプ場	38	鉄筋コンクリート造平屋建	昭和51年10月27日 昭和57年8月23日
正面ゲート	154	鉄筋コンクリート造平屋建	昭和51年10月15日
たい肥舎	20	コンクリートブロック造平屋建	昭和45年10月9日
ボイラー室(1)	72	鉄骨造平屋建	昭和50年8月4日
ボイラー室(2)	34	コンクリートブロック造平屋建	昭和48年3月31日
ボイラー室(3)	22	コンクリートブロック造平屋建	昭和53年10月31日
便所(6か所)	75	木造(3)、鉄筋コンクリート(3)	昭和50年3月31日～ 平成11年3月31日
あずまや 四阿(休憩所)	20	木造平屋建	昭和50年3月31日
立体駐車場	7,894	鉄骨造2階建3層	昭和52年5月15日
休憩展望塔	429	鉄筋コンクリート造2階建、塔屋有	昭和55年3月31日
休憩所・茶屋	40	木造平屋建、茶屋24m ² (4畳半)	昭和59年3月31日
便所・機械室	37	鉄筋コンクリート造平屋建	昭和61年2月3日
ログハウス・休憩所	197	木造、一部鉄筋コンクリート造	平成元年10月20日
授乳室・救護室	12	軽量鉄骨造平屋建	平成17年3月31日

3 温室

名 称	面 積 (㎡)	構 造	完 成
大 温 室	延 2, 173	鉄骨アルミ造ガラス張り	昭和50年8月4日 平成30年3月3日リニューアルオープン
サボテン温室	266	鉄筋コンクリート、	昭和53年10月31日
展 示 温 室	185	鉄骨アルミ造ガラス張り平屋建	
熱帯スイレン温室	483	鉄骨アルミ造ガラス張り平屋建	昭和61年2月13日
ペゴニア温室	625	鉄骨造、一部鉄筋コンクリート平屋建	平成8年3月31日
フクシア温室	227	鉄筋コンクリート、 鉄骨アルミ造ガラス張り	昭和56年3月31日 平成9年3月15日改装
栽培温室(A)	756	鉄骨アルミ造ガラス張り 153㎡×4棟 144㎡×1棟	昭和48年3月31日 昭和55年2月18日
栽培温室(B)	344	鉄骨アルミ造ガラス張り 69㎡×4棟、68㎡×1棟(冷房)	昭和51年11月24日～ 昭和55年2月18日
育苗温室(A)	143	鉄骨アルミ造ガラス張り平屋建	昭和63年1月9日
育苗温室(B)	143		
栽培温床	36	アルミフレームガラス張り	昭和56年12月14日
栽培ハウス	120	パイプハウスビニール張り	平成19年10月29日

4 入園者の状況

(単位：人、日)

年 度	総入園者数	有料入園者数	無料入園者数	1日平均入園者数	開園日数
昭和51年度(1976年)	291,164	242,702	48,462	2,367	123
52年度(1977年)	437,723	361,986	75,737	1,421	308
53年度(1978年)	333,297	277,195	56,102	1,082	308
54年度(1979年)	303,806	252,545	51,261	986	308
55年度(1980年)	282,338	235,898	46,440	914	309
56年度(1981年)	301,056	250,074	50,982	977	308
57年度(1982年)	294,402	244,268	50,134	956	308
58年度(1983年)	278,569	227,536	51,033	904	308
59年度(1984年)	277,201	227,188	50,013	897	309
60年度(1985年)	261,694	215,772	45,922	850	308
61年度(1986年)	319,291	267,603	51,688	1,033	309
62年度(1987年)	291,248	242,177	49,071	943	309
63年度(1988年)	263,739	219,899	43,840	854	309
平成元年度(1989年)	260,143	202,774	57,369	845	308
2年度(1990年)	257,918	182,109	75,809	837	308
3年度(1991年)	244,418	177,520	66,898	791	309
4年度(1992年)	252,768	177,214	75,554	821	308
5年度(1993年)	231,479	165,054	66,425	752	308
6年度(1994年)	190,064	130,744	59,320	619	307
7年度(1995年)	190,236	133,353	56,883	616	309
8年度(1996年)	205,488	136,923	68,565	667	308
9年度(1997年)	159,490	105,791	53,699	518	308
10年度(1998年)	147,790	92,041	55,749	480	308
11年度(1999年)	156,328	97,388	58,940	508	308
12年度(2000年)	139,047	84,042	55,005	451	308
13年度(2001年)	141,056	86,161	54,895	458	308
14年度(2002年)	130,630	71,028	59,602	424	308
15年度(2003年)	176,575	79,347	97,228	565	312

年 度	総入園者数	有料入園者数	無料入園者数	1日平均入園者数	開園日数
16年度(2004年)	155,396	68,207	87,189	499	311
17年度(2005年)	163,529	69,640	93,889	527	310
18年度(2006年)	170,035	71,166	98,869	546	311
19年度(2007年)	188,889	80,404	108,485	605	312
20年度(2008年)	210,193	94,594	115,599	675	311
21年度(2009年)	212,558	90,437	122,121	683	311
22年度(2010年)	206,218	86,349	119,869	660	312
23年度(2011年)	202,111	81,960	120,151	639	316
24年度(2012年)	210,754	92,237	118,517	673	313
25年度(2013年)	196,317	100,847	95,470	625	314
26年度(2014年)	206,275	107,709	98,566	659	313
27年度(2015年)	211,247	106,513	104,734	677	312
28年度(2016年)	186,992	91,982	95,010	601	311
29年度(2017年)	183,866	97,296	86,570	589	312
30年度(2018年)	189,079	101,892	87,187	616	307
令和元年度(2019年)	161,834	90,072	71,762	519	312
2年度(2020年)	115,783	69,439	46,344	476	243
3年度(2021年)	119,405	62,484	56,921	500	239
4年度(2022年)	148,751	90,283	58,468	478	311
5年度(2023年)	138,526	80,252	58,274	440	315
計	10,396,716	6,920,095	3,476,621	715	14,545

(注)昭和51年度は、11月3日の開園日から。

Ⅷ 植物公園花ごよみ

屋 外	
4月	サクラ(ソメイヨシノ、ヤエザクラ等)、ツツジ、コブシ、ミズバショウ、サクラソウ、チューリップ、アイスランドポピー、シャクナゲ、ネモフィラ、フジ、ハナミズキ
5月	バラ、ツツジ、シャクナゲ、ナンジャモンジャ、カキツバタ、シラン、マイヅルテンナンショウ
6月	アジサイ、ハナショウブ、ヒペリクム、ヤマボウシ、サツキ、イブキジャコウソウ
7月	ヒマワリ、スイレン、ユリ類、ヤチシャジン、ハス、オニユリ、センノウ
8月	スイレン、サギソウ、ハス、オミナエシ、ハイビスカス、ワタ、ヒマワリ、ヒゴタイ
9月	ハギ類、ヒガンバナ、オミナエシ、オオモクゲンジ
10月	コスモス、サルビア類、ダリア、エンジェルストランペット、シュウメイギク、ホトトギス
11月	バラ、野生ギク、コダチダリア、冬桜
12月	サザンカ、ハボタン、パンジー、グランサムツバキ
1月	ロウバイ、ハボタン、パンジー、ワビスケツバキ、スイセン
2月	ウメ、シナマンサク、スイセン、フクジュソウ、ロウバイ、セツブンソウ、パンジー
3月	ウメ、ツバキ、トサミズキ、ハクモクレン、マンサク、クリスマスローズ、ミツマタ、ユキワリイチゲ、リビングストーンデージー、ハナナ、パンジー

温 室	
4月	洋ラン類、熱帯スイレン、球根ベゴニア、フクシア、ブーゲンビレア、アンズリウム、バニラ、ヒスイカズラ、ペラルゴニウム、サボテン類
5月	洋ラン類、熱帯スイレン、球根ベゴニア、フクシア、ハイビスカス、アンズリウム、コーヒー、サボテン類
6月	熱帯スイレン、オオオニバス、球根ベゴニア、フクシア、ハイビスカス、アンズリウム、カカオ
7月	熱帯スイレン、オオオニバス、球根ベゴニア、フクシア、ハイビスカス、サガリバナ、ソーセージノキ
8月	アンズリウム、熱帯スイレン、オオオニバス、球根ベゴニア、フクシア、サガリバナ
9月	洋ラン類、熱帯スイレン、オオオニバス、球根ベゴニア、フクシア、サガリバナ、月下美人、オーストラリアバオバブ
10月	洋ラン類、熱帯スイレン、オオオニバス、球根ベゴニア、フクシア、ハイビスカス
11月	洋ラン類、球根ベゴニア、フクシア、ハイビスカス
12月	ポインセチア、洋ラン類、球根ベゴニア、フクシア、オオベニゴウカン
1月	ポインセチア、洋ラン類、球根ベゴニア、フクシア、オオベニゴウカン
2月	洋ラン類、球根ベゴニア、フクシア、カラコエ、オオホウカンボク
3月	洋ラン類、球根ベゴニア、フクシア、ヒスイカズラ、ゼラニウム、ペラルゴニウム、オオバナソシンカ、アロエ、オオホウカンボク

※ このほかにも年間を通じてたくさんの花が見られます。詳しくはホームページを見ていただくか、お問い合わせください。

Ⅸ 植物友の会

一般から募集された植物に興味をもつ人たちの集まりで、植物公園を活動の場として、植物愛好者が集い、植物・園芸に関する知識・技術の向上を図り、自然保護の心を育てることを目的に昭和54年10月に設立された会である。

会費は、令和2年度より無料となっている。

会員数は、個人会員が93人、家族会員が24組57人（令和6年3月末現在、賛助会員は令和元年度をもって廃止）で、次のような活動を行っている。

- 1 例会の開催
2か月に1回、植物公園で開催し、植物についての講話や栽培講習、園内案内、種苗交換などを行う。
- 2 会誌の発行
植物に関する話題や植物公園のできごとなどを載せた会誌「はなの輪」を年4回、会の活動や会員の投稿などを載せた「ニュースレター」を随時発行し、会員に配付している。
- 3 各種催し物の開催など
 - (1) 野外観察会
近郊の野山や庭園などに出かけ、野生の草花や樹木を身近に観察するとともに、会員相互の親睦を図る。
年2回開催（日帰り）
 - (2) ロビー展示
展示資料館ロビーで随時開催。植物クラフト作品等植物に関する成果を発表する場を会員へ提供。
 - (3) 友の会ボランティア
月2回、植物公園内の植物管理や園内装飾を希望者を募って実施。



【野外観察会「第2回野外観察会（9月30日）」】



【友の会ボランティア「ハンギングバスケットの作成（9月19日）」】

X ボランティア活動

《ガイドボランティア》

温室の植物の特徴や魅力などを入園者に解説してもらうため、平成12年秋にガイドボランティアを募集し、養成講座による研修後、平成13年3月24日から活動を開始した。また、平成16年4月からは屋外の植物ガイドも活動を開始し、現在、1~15期生53名が登録している。(令和6年4月現在)

毎週土曜日と日曜日と祝日の午後1時半から「温室のガイド」は大温室、サボテン温室、熱帯スイレン温室、ペゴニア温室、フクシア温室の5か所を、「屋外のガイド」は花の進化園、ロックガーデン、屋外の樹木などを案内している。平日も公民館活動、町内会、学校の遠足など団体に対し、予約によりガイドを行っている。また、各種イベントへの参加、講習会の講師、植物の調査、ジュニアプロジェクトなど自主活動も盛んに行っている。

《友の会ボランティア》

植物友の会の会員を対象に希望者を募って活動している。月2回の定例活動日を設けており、園内の植物管理やハンギングバスケットの作成、花壇の植え付け、園内装飾などを行っている。



【ガイドボランティア・さくらまつり桜観賞会】



【友の会ボランティア・花壇の除草、花がら取り】

X I 入園のご案内

- 1 開園時間 午前9時から午後4時30分（入園は午後4時まで）
- 2 休園日 毎週金曜日〔金曜日が8月6日又は国民の祝日にあたるときは、開園。なお、4月5日（金）、5月2日（木）、11月1日（金）、2月28日（金）、3月28日（金）は臨時開園します。〕、12月29日から翌年の1月3日まで。

3 入園料・駐車料

区分	大人		小人	備考	
	18歳以上 65歳未満	65歳以上 ※2			
入園料	個人	510円	170円	170円	【小人】 (1) 高等学校、中等教育学校 又は特別支援学校の高等部の在学者。 (2) 上記以外の者、15歳～18歳(3月31日迄)。 ※1 団体は30人以上。
	団体※1	430円	130円	130円	
	3園共通 年間 パスポート	1,560円	510円	510円	

※2 65歳以上の者であることを確認できる公的証明書（健康保険証、運転免許証等）の提示があった場合

区分	準中型(大)・中型・大型車	軽・普通・準中型車(小)	備考
駐車料	1,400円	450円	車種の区分については、 下記のとおり道路交通法 による区分とします。

●車種区分

車種	乗車定員	車両総重量	最大積載量
軽・普通自動車	10人以下	3.5トン未満	2.0トン未満
準中型自動車(小)	10人以下	5.0トン未満	3.0トン未満
準中型自動車(大)	10人以下	7.5トン未満	4.5トン未満
中型車	11人以上29人以下	11トン未満	6.5トン未満
大型車	30人以上	11トン以上	6.5トン以上

∴3園共通年間パスポート

通常の3回分の料金で1年間、広島市植物公園と安佐動物公園、広島市森林公園こんちゅう館の3園館に何度でも入園できるのでとってもお得です。

- 4 入園料の免除
 - ・公の団体又は営利を目的としない団体が公益上の目的のために入園するとき。（駐車料も免除）
 - ・社会福祉施設に入所している者が引率されて入園するとき。（駐車料も免除）
 - ・市の主催する行事に参加する者が入園するとき。
 - ・小学校、中学校、中等教育学校の前期課程又は特別支援学校の小学部若しくは中学部に在学する者が入園するとき。
 - ・原爆障害者章、身体障害者手帳、療育手帳、精神障害者保健福祉手帳、戦傷病者手帳、特定医療費（指定難病）受給者証、又は小児慢性特定疾病医療費受給者証の交付を受けている者が、当該原爆障害者章、身体障害者手帳、療育手帳、精神障害者保健福祉手帳、戦傷病者手帳、特定医療費（指定難病）受給者証又は小児慢性特定疾病医療費受給者証を提示して入園するとき。
 - ・市内の小学校、中学校、中等教育学校の前期課程又は特別支援学校の小学部若しくは中学部における学校教育活動として児童又は生徒の引率者が入園するとき。
 - ・その他市長において減免を必要と認めるとき。

毎週土曜日に小人料金対象者が入園するとき。ただし、国民の祝日に関する法律に規定する休日、又は広島市立学校の夏季休業日、冬季休業日及び春季休業日と重複する日は除く。

- 5 駐車料の免除 次の各号のいずれかに該当する者が、自ら車両（普通自動車に限る。以下同じ。）を運転し、又は介護者の運転する車両に同乗して植物公園駐車場を使用する場合、所定の手帳若しくは標章の提示により、駐車料を免除する。
 - (1) 身体障害者手帳の交付を受けた者のうち、1級又は2級に該当するもの。
 - (2) 療育手帳の交付を受けている者のうち、㊤又はAと記載されたもの。
 - (3) 精神障害者保健福祉手帳の交付を受けている者のうち、1級と記載されたもの。
 - (4) 広島県道路交通法施行細則（昭和35年12月13日公安委員会規則第15条）第3条の6第1項第13号に規定する標章を当該車両に掲示しているもの。

- 6 交通機関 バス 植物公園經由薬師が丘団地行
・広島バスセンターから約 40 分
・JR五日市駅北口から約 20 分
- バス 薬師が丘団地行
・広島バスセンターから } 薬師が丘団地入口下車
・JR五日市駅北口から } 徒歩約 15 分 (約 600m)
- タクシー ・JR五日市駅及び広電宮島線五日市駅から約 10 分
- 乗用車 ・市内中心部から約 30 分
・山陽自動車道五日市 IC 又は廿日市 IC から約 15 分 (約 7km)

X II 植物公園利用の手引き

1 見学時間の目安

ベゴニア温室、大温室、熱帯スイレン温室、フクシア温室、展示温室、サボテン温室の6つの温室を中心とした見学では1時間～1時間30分程度必要。バラ園や日本庭園、休憩展望塔などを含めると2～3時間が必要。

2 入園者への貸出等

- (1) 車椅子の貸出（無料）
園内は一部を除きスロープが整備されており、車椅子を利用して園内の植物を観賞できる。
電動車椅子 3台、手動車椅子 10台
- (2) ベビーカーの貸出（対象：6ヵ月以上2才未満）（無料）
15台
- (3) 電動スクーターの貸出（有料）
2台／1回につき500円（120分まで、20分超過ごとに100円）
- (4) コインロッカー（有料）
10個／1回につき100円
- (5) 双眼望遠鏡（有料）
展望塔に双眼望遠鏡を設置しており、宮島等の瀬戸内海の展望を観賞できる。
1台／1回につき100円

3 茶室等施設の利用

- (1) 茶室「^{わしんあん}和心庵」（無料）
茶室（和心庵）は、日本庭園内にあり流派を問わず利用できる。
施設の利用については事前に問い合わせが必要。
- (2) 授乳室・救護室
授乳時や体調不良時に自由に利用できる。
- (3) ビデオ・写真撮影
ビデオ・写真撮影は可能。ただし、業として行う場合は有料。

4 食 事

森のレストラン：カツ丼、うどん定食、ラーメン、カレー、キッズプレートなど 85席
森のカフェ：パスタセット、カツカレー、ソフトクリーム、コーヒー、紅茶など 45席

5 売 店

売店・休憩所：植物に関する小物、本、お菓子、オリジナル商品などの販売
植 物 売 店：季節の花や園芸用品の販売
臨 時 売 店：展示に関連した植物等の販売

6 ホームページ (<http://www.hiroshima-bot.jp/>) など

ホームページは、平成13年3月26日に開設した。令和6年2月28日にリニューアルし、3月31日にはスマホ対応を行った。内容は植物公園の概要、イベント・展示・講座、ご利用案内、園内の植物のご案内などさまざまな内容を掲載している。令和6年3月末のアクセス件数は累計2,362,234件。

公式X（旧twitter）アカウント (<https://twitter.com/HBGhiroshima>) は令和3年3月17日に開設した。見ごろの花やイベント情報などを中心に情報発信を行っている。令和6年3月31日現在のフォロワー数は2,876人。

公式instagramは令和4年8月7日に開設した。令和6年3月31日現在のフォロワー数は1,113人。

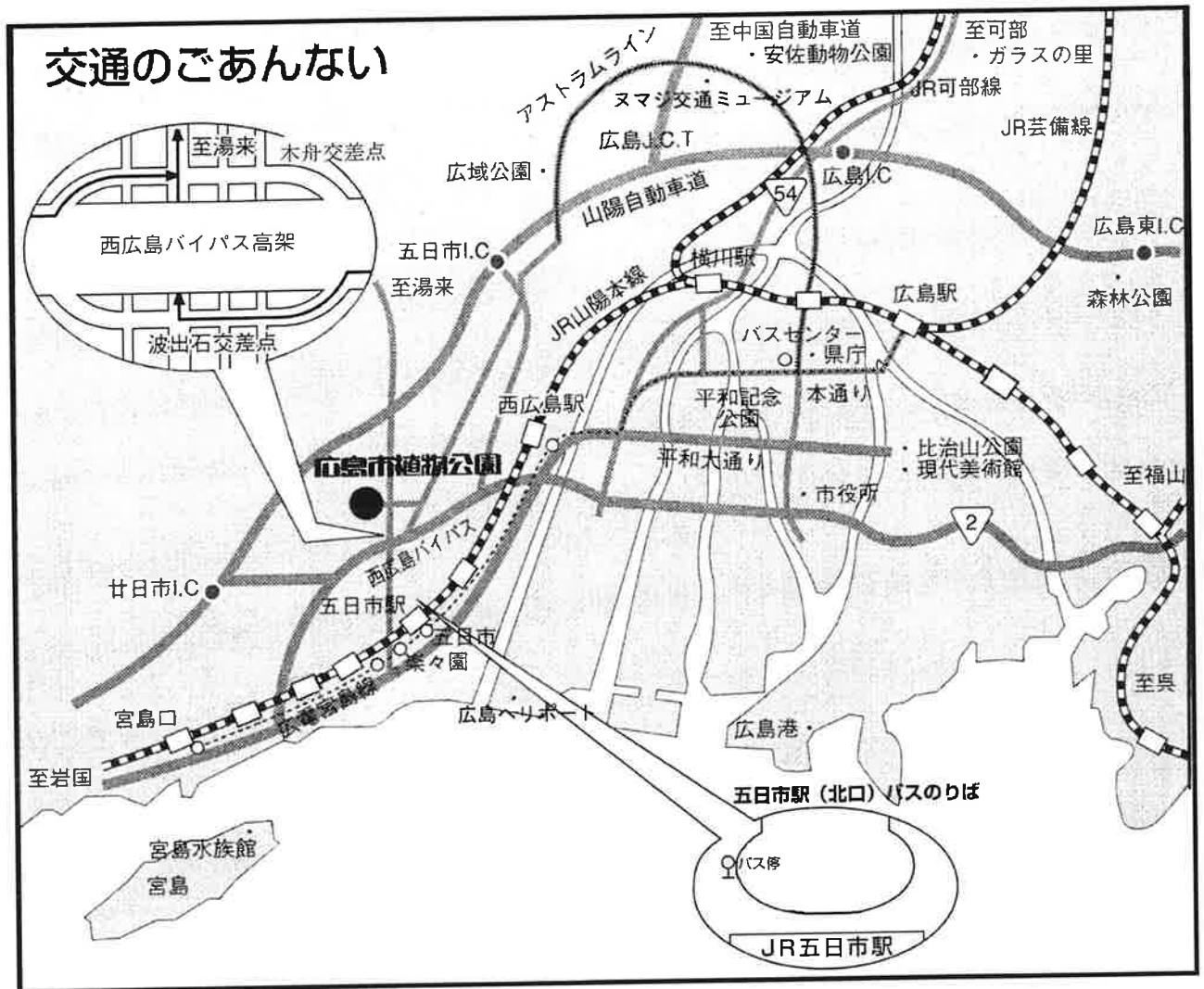
公式facebookは令和4年8月7日に開設した。令和6年3月31日現在のフォロワー数は73人。

7 自然体験学習（活動）・植物教室

- (1) 自然体験学習（活動）は、小中学校の自然体験学習（活動）や総合学習に対応したオリエンテーリングや植物公園ならではの植物に関するプログラムを用意し対応している。令和5年度は12件1,253人がこのプログラムを学習した。令和6年度も学校教育活動に対応すると共に、親子植物体験教室を実施する。
なお、プログラムはホームページに掲載している。
- (2) 植物教室は、職員による講話や植物公園の概要説明、植物のビデオ鑑賞等を行うもので、園の仕事や植物に関する知識を深めることができる。

8 園内ガイド

毎週土・日曜日・祝日の午後1時半から各温室のガイドや屋外のガイドをガイドボランティアが行っている（平日も事前の申込みにより案内可能）。また、自然体験学習と組み合わせることも可能。（ガイドボランティアについてはP.16参照）



名 称	令和6年度 植物公園のあらし
発 行	公益財団法人広島市みどり生きもの協会 植物公園
所 在 地	〒731-5156 広島市佐伯区倉重三丁目495番地 TEL (082)922-3600 FAX (082)923-6100
ホームページ	http://www.hiroshima-bot.jp/
発行年月日	令和6年5月8日



サギソウ

表紙は、サギソウをデザイン化した当園のシンボルマークです。

【サギソウ *Habenaria radiata* L.】

日当たりのよい湿地に生える野生ラン。シラサギを彷彿とさせる繊細な
つくり、清楚な姿は、日本特有のランで、夏に咲いてすがすがしい。